

新宿労働基準監督署管内（新宿・中野・杉並区）労働災害発生状況

平成28年死傷災害発生状況（1月～12月）

確定値

| | 製造業 | 建設業 | * 土木工事業 | * 建築工事業 | 木造家屋 建築工事業 | * その他の 建設業 | 運輸交通 業 | * 道路貨物 運送業 | 貨物取扱 業 | 商業 | * 卸小売業 | 保健衛生 業 | 接客娯楽 業 | * 飲食店 | 清掃と畜 業 | * ビルメン 業 | その他 の三次産 業 | * 金融業 | * 警備業 | その他 (一次産 業) | 署計 |
|--------|-------|------|------------|------------|---------------|------------------|-----------|------------------|-----------|-----|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|----------------|------------------|----------|----------|-------------------|-----|
| 新宿 | 19 | 103 | 6 | 80 | 10 | 17 | 64 | 35 | 4 | 131 | 116 | 69 | 96 | 74 | 74 | 69 | 181 | 17 | 49 | 2 | 743 |
| | 25 | 87 | 8 | 68 | 13 | 11 | 80 | 34 | | 122 | 109 | 55 | 96 | 81 | 65 | 58 | 165 | 9 | 41 | 5 | 700 |
| 増減率(%) | -24.0 | 18.4 | -25.0 | 17.6 | -23.1 | 54.5 | -20.0 | 2.9 | - | 7.4 | 6.4 | 25.5 | 0.0 | -8.6 | 13.8 | 19.0 | 9.7 | 88.9 | 19.5 | -60.0 | 6.1 |

(注1) 上段はH28年発生分
下段は前年発生分(確定値)

(注2) データは労働者死傷病報告による死亡及び休業4日以上の災害。

平成28年死亡災害発生状況及び概要（5件・7名）

| 発生月 | 業種(職種) | 年齢/経験 | 発生状況概要 |
|-----|------------------------------|---|---|
| 1 | 貨物自動車運送業 (運転手) | 50歳代/ 10年以上20年 未満 | 被災者は、首都高速道路をトラックにて走行中、前を走るトラックに追突し、被災者運転のトラックは追突されたトラックに押し出されるように高速道路左側側壁で停止したが、当該接触によりトラックの運転席側のドアが開かなくなったため、被災者は助手席側のドアから外に出たところ、高架下約2.0mに転落した。 |
| 2 | 木造家屋建築工事業 (大工) | 70歳代/ 30年以上 | 木造2階建て住宅新築工事において、2階建物内部で床材となるベニヤ板を貼っていた被災者が、張り出して仮置きしていたベニヤ板に乗り、いわゆる天秤の状態となって墜落した。 |
| 7 | その他の事業 (技術職) | 40歳代/10年以上 20年未満 20・30歳代/1年 以上5年未満 | 出張中のバングラディッシュ国・首都ダッカにおいて、レストランにて食事中に武装したテロ集団の爆弾・銃撃により殺害されたもの。 |
| 9 | その他の建設業 (造園工) | 70歳代/ 20年以上30年 未満 | 樹木の剪定工事において、被災者は樹木(マテバシイ、高さ7m)の一番下の枝(高さ2.5m)にハシゴを掛けてその枝の上に乗ったところで、剪定方法を確認するために地上にいた責任者に対し自らがいる位置まで登ってくるよう促し、責任者がハシゴを2、3段登ったところで枝が折れ、被災者は枝の上から地面に墜落した。 |
| 10 | 鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業 (鳶工) | 50歳代/ 20年以上30年 未満 | マンションの耐震補強工事において、外部枠組足場14層目で解体作業を行っていた被災者が地上の歩道上に墜落(22.6m)した。なお、墜落推定箇所枠組足場は外側のプレスを取り外した状態で、被災者は、安全帯を着用はしていたものの使用せずに作業をしていた。 |

平成28年死傷災害：事故の型別

